



外国出張報告書

平成 27 年 04 月 13 日

1. 出張国名 タイ、マレーシア
2. 出張月 平成 27 年 2-3 月
3. 出張目的 ウシエビ混合養殖技術の開発・定着のための調査研究：C
4. 成果の概要

タイ・キングモンクット工科大学ラカバン（KMITL）農業工学部敷地内のコンクリート養殖水槽において、ウシエビ・ジュズモ属の一種・ミズゴマツボ属の一種の混合養殖実験を継続して行った。収容後約 4 ヶ月後に収穫を行った結果、混合養殖区においてエビの成長が高かった。また、理事長インセンティブ課題として、ジュズモ属一種のカロテノイド分析を行った結果、本種の主要なカロテノイドはβカロテン、ルテイン、ゼアキサントンで、その含有量は他の緑藻類よりも高い傾向があることが明らかとなった。2 月に KMITL 学内で開催された農業エキスポにおいて、本研究課題に関するポスター展示を行った。マレーシアにおいて、エビ養殖に関する聞き取り調査を行い、当該地域において数年前から流行している **Early Mortality Syndrome (EMS)** は依然として発生頻度が高いこと、また突然死する原因不明の新たな疾病が発生していることがわかった。